

福島県男女共生センター広報誌

# 未来館 *miraikan news* NEWS

2017  
vol. 64

## Contents

特集 LGBTを知ろう。

未来館フェスティバル2017速報

ワーク・ライフ・バランスに

取り組む企業

# 特集 LGBTを知ろう。

最近、新聞等で「LGBT」という言葉を目にする機会が増えてきましたが、皆さんは「LGBT」についてご存知ですか？  
県では、平成 29 年 3 月に改定した「ふくしま男女共同参画プラン」に「多様な価値を尊重する社会の実現」という項目が加わり、性自認や性的指向への理解を深めていくための人権教育や啓発事業を進めています。

男女共生センターでは、8月17日に「家族で、学校で、職場で、地域でLGBTを受け止めるには」と題して講演会を行い、多くの皆様にご参加いただきました。

今回は、講演会の内容を通じて「LGBT」を知る機会にしましょう。

## 「LGBT」とは？



上記、4つの単語の頭文字をとった言葉で、性的少数者（セクシュアルマイノリティ）を表す総称のひとつです。「LGB」は「好きになる性（性的指向）」、「T」は「性自認とからだの性の不一致」で、「性同一性障害」も含まれます。

## NPO 法人 LGBT の家族と友人をつなぐ会とは？

講師の小林りょう子さんが所属している「NPO 法人 LGBT の家族と友人をつなぐ会」は、2007年神戸でゲイの子を持つお母さんとレズビアンの子を持つお母さんが、これは自分たちだけの問題ではなく社会に大きく訴えていかなければならないと、たった2人で立ち上げた会です。それから、東京、福

## 多様な性のありよう（セクシュアリティ）とは？

《セクシュアリティを構成する4指標》



性のありようは、主に4つの要素から構成されますが、単純に男・女に二分されているものではなく、虹のようにグラデーションになっていて、人によって少しずつ違っています。LGBT以外にもXジェンダー(男女の枠にとらわれない人)、クエスチョニング(自分自身の性自認や性的指向がわからない、迷っている、どちらにも分類されたくない人)など、多様です。

岡、名古屋と広がり、当事者及び家族の心のケア活動を中心に、LGBTへの理解を深めるための啓発活動、人権問題への提言活動、また、アンケート調査などの調査研究事業を行っています。詳しくは、NPO 法人 LGBT の家族と友人をつなぐ会のホームページをご覧ください。

## 教師のための次世代育成成人権セミナー

### テーマ 「家族で、学校で、職場で、地域でLGBTを受け止めるには」

講師：小林りょう子さん (NPO 法人 LGBT の家族と友人をつなぐ会 in 東京 理事)

## 「LGBT」の現状

LGBTの方は、AB型の血液型の人や左利きの人とほぼ同数です。そして、佐藤さん、田中さん、高橋さん、鈴木さんという日本で多い名字を合計した670万人より多いのです。ですが、皆さんの家族や友人、知人にLGBTの方はいますかとお聞きすると、皆さん、いないとか会ったことがないと言います。なぜ会ったことがないのかというと、当事者は怖いから、何をされるかわからないから自分がLGBTだと言えないのです。世界の歴史を見てもそうです。いまだに同性愛者というだけで死刑になる国もあります。近年になってアメリカでは同性婚が認められて大きなニュースになりましたが、まだまだ世の中はLGBTに理解があるわけはありません。

2015年に、電通総研のダイバーシティ・ラボが調べたところによると、LGBTに該当する人は日本の人口比率の7.6%という

結果が出ました。これは、13人に1人はLGBTの当事者だということです。学校が30人学級であれば1クラスに1~2人は必ずいるという数です。

しかし、日本ではLGBTの認知度はまだまだ低いようです。これは5年前の調査になりますが、国際的な調査機関によると、スペインやノルウェーでは、LGBTについてよく知っていて、家族や友人・知人にLGBTがいると答えた方は65%もいましたが、日本ではLGBTを知っている人は5%しかいませんでした。当事者と同じぐらいの数しか知っている人はいないということです。つまり、日本の人口は1億2,000万ですから、LGBTの当事者が1,000万人いたとすれば、そのことを、まだ1,000万人しか知らず、残りの1億人は知らないというのが現状です。

## 当事者の家族として、カミングアウトを受けて

LGBTも含め、性的少数者（セクシュアルマイノリティ）は100人いれば100通りです。私は当事者の家族として息子の話をしますが、こういう人もいるんだなという一つの例だと思ってください。

私の息子は、「性同一性障害」で、戸籍上は女性ですが心は男性でした。ある日の夜、「女の着ぐるみ脱ぐよ」とカミングアウトを受けました。つなぐ会では、子どもからのカミングアウトを「バトンを受け取る」といいますが、バトンを受け取った私たち家族がどうしたかといいますと、私は、わかってはいないけど「うん、わかった」と言いました。そして、「でも、私は悪くないからね。あなたの問題だよ」と話しました。なぜ、そのように言ったかということ、以前、養護教諭をしていた時に、子どもの問題行動をすべて母親のせいにしてしまうことにすごく疑問を持っていたからです。母乳神話だとか3歳児神話とか言われますよね。愛情があれば子どもは育つものだと思っていたので、そういうことに関してすごく違和感がありました。そして、もし私が、「自分の産み方が悪かった」「育て方が悪かった」と私のことを否定したら、本人のことも否定することになります。だから、「私のせいじゃないからね」と言いました。それに対して、息子は「ありがとう」とすごくうれしそうに言ってくれました。

息子の父親は、私が妊娠した時から妊娠・出産・子育て・育児に関する本をたくさん読んでいて、虎井まさ衛さん(日本で初めてトランスジェンダーとしてアメリカで適合手術を受けた方)の本も読んでいました。カミングアウトを受け、「虎井さんがうちに来る」と思ったそうです。彼も否定することもなく、嫌がりもせず、「うん、わかった」と話しました。



講師の小林さん

そしてもう一人、4歳下の弟は「僕にとっては何も変わらない。だから好きなようにすればいいんじゃない。それでも僕は〇〇ちゃんのことは好きだよ」と簡単に受け入れました。

バトンを受け取った私たち家族は、息子の要望・希望を聞き、話し合いました。息子は、すでに、専門医から「性同一性障害」であると診断を受け、治療を進めたいと考えていました。息子の希望は適合手術を受け戸籍も変わりたいということでした。健康な体にメスを入れることは何かと思われるかもしれませんが、私も夫とケンカしました。ですが、息子の場合、自分の体が許せなかったのです。手術前からホルモン治療をしていましたし、今も続いています。その影響で骨粗鬆症などの症状も出ています。「本来の姿に戻る」ための苦勞は相当なものです。今も半年に一度は検査をし、メンテナンスをしています。とにかく、命を大切にしたいと伝えていきます。

## 学校現場における LGBT 当事者の困難

学校の中で困ることは、男か女しかいないという考えが深く浸透していることに起因していると思います。トイレ、更衣室、制服、健康診断、宿泊授業、持ち物、配布物の色、学校の名簿等、男女別になっていることを不快に思っている子どもたちがいるということです。それ以外の性別があることへの配慮が全くされていません。あるいは、保健体育や性教育が男女別になっていて違和感を持っている子どもたちもいます。

また、生徒指導では「らしさ」を強調される学校がまだまだあって、男は強くなければいけない、女は優しく配慮深くというような、ジェンダーの問題があります。男と女というだけで分けられすぎていないか、立ち止まって考えていただきたいと思います。

つなぐ会に寄せられた当事者からの声を少し紹介したいと思います。

### 事例 1

性同一性障害であることを明らかにして学校生活を送っていたところ、一部の同級生によって学級会の議題にされ、クラス全員の前で、話し方がオカマっぽい、気色が悪いと批判を受けた。そうしたら担任の先生が「本人は直そうと頑張っているんだから応援しようよ」と言った。

同性愛にしてもトランスジェンダー（からだの心性が一致していない）にしても直るとか直すものではなく、それを直そうというのは逆に人格を否定することになります。また、他の人に体

を見られる心配や他の人の体が目に入る罪悪感から学校の更衣室やトイレが使いつらいということもあります。トランスジェンダーの子どもたちは、トイレの問題ばかりではなく、健康診断や宿泊授業、身体測定、プール授業等もとても嫌なのですが、そういったことに全く配慮していない学校もまだまだあります。そして、うちの学校にはいないから LGBT の話は必要ないという先生がびつくりするほど多いです。

### 事例 2

学校の教科書に性的指向や性自認に関する配慮がなく傷ついた。

保健体育や家庭科の教科書等の家族に関する記述には、おじいちゃんおばあちゃん、お父さんお母さん、子どもは女の子と男の子がいて、たまに犬がいたりする構図になっていると思います。同性愛の子どもが見たときにはこの構図になりません。そうすると、自分は間違っている、自分はおかしいと思い、自己肯定感が低くなってしまふことがあると思います。

昨年の 4 月に文部科学省より「性同一性障害や性的指向・性自認に係る、児童生徒に対するきめ細やかな対応等の実施について」という教員向けのガイドブックが公表されました。学校の先生には絶対に見ていただき、LGBT の子どもたちのために、環境を整えていただければと思います。

## 「アライ」さんを増やす活動

「アライ (ally) さんとは、アライアンス (alliance) 応じてくれる人、つまり、LGBT への理解を示し、支援してくれる人のことをいいます。つなぐ会の活動の目的は「アライ」さんを増やすことでもあり、特に学校の先生が「アライ」さんになってくれたら、子どもたちにとってとても心強いと思います。

LGBT の子どもたちは、自傷行為も含め自殺未遂者の比率が LGBT ではない子どもと比べてとても高く、その中で本当に自死してしまう子どもが 15% もいます。ロールモデルがないため、どうやって生きていけばいいのか、幸せになれるのか、就職はできるのか、家族は持てるのかといった大きな問題に直面しています。

レスとかホモという言葉は侮蔑語です。もし、子どもたちがこういう言葉を使っていたら、「それって使っちゃいけない言葉だよ。レスじゃなくてレスビアン、ホモじゃなくてゲイと言ってね」とアドバイスをしていただきたいですし、これは笑って言うような話ではないと伝えて欲しいと思います。

そして、もし、カミングアウトを受けたら、それは、あなたを信



講座の様子

頼しているからです。当事者は、本当に死ぬ思いでカミングアウトしています。その時はわからなくても、大事なことを話してくれたと認識して、「よく話してくれたね。私にできることがあったら言ってね」と話してください。その一言で当事者は本当に救われると思います。また、本人の了解を得ずに他の人に話すこと（アウトティング）は絶対にしてはいけません。命にかかわることだと覚えていてください。

## 少数派（マイノリティ）の問題は社会の問題

つなぐ会では「Personal is Political（個人の問題は社会の問題である）」という思いで活動をしています。健常者や多数派（マジョリティ）だけが社会のことを考えるのではなく、その逆から見ると、みんなが笑顔になれる過ごしやすい社会になるのではないでしょうか。その笑顔を曇らせないために、障害に対する差別、国籍や部落差別、その差別から生まれる戦争、それらをなくすために、

世界情勢や社会の変化によって関心が寄せられるのではなく、みんなが興味を持ち続け、偏見や差別の解消に力を貸してください。

最後になりますが、是非、この問題について周囲の人と話してみる時間をつくってください。偏見や差別はよくわからないものだとくっつくことからはまるのだと考えます。ぜひ、あなたの周りから正しい知識を広げていっていただければと思います。

## 職場の LGBT 読本

「ありのままの自分」で働ける環境を目指して

【分類 5201/シ】柳沢正和 / 他著 実務教育出版 2015 年

自認する性別で働き続けるためには、職場ではどのように対応していったらいいのでしょうか。LGBT 当事者、非当事者からの職場環境に関するアンケート調査から、人間関係や LGBT 政策の有無など、職場で抱える課題の改善ポイントを探ります。企業は LGBT 差別＝セクハラ問題と捉え、人道的にどのような対策を取るべきかを教えてくれる本です。



### 問合せ

福島県男女共生センター図書室

電話：0243-23-8308

開館時間：9 時～20 時（休館日前日は 17 時）

## ふたりで安心して最後まで暮らすための本

【分類 5204/ナ】永易至文 / 著 太郎次郎社エディタス 2015 年

2015 年に東京の渋谷区や世田谷区で、同性カップルを対象としたパートナーシップ証明が発行されました。公的に関係を示す書類として画期的ですが、法的根拠はありません。そのため、医療現場や財産管理などの場面で、家族ではなく「他人」として扱われています。同性パートナーたちがこれからのライフプランを立てる上で、不利益を回避するための知識と情報が詰まった一冊です。



## センター図書室の

# LGBT に関するオススメ本

## 未来館フェスティバル2017速報



今年も 2 日間にわたり、「未来館フェスティバル 2017」が開催されました。

9 月 2 日（土）は、深澤真紀さん講演会、未来館ネットワークカフェ、県民の皆さんによる企画、3 日（日）には、平成 29 年度認知症介護セミナーと様々なイベントが催され、来館者数のべ 4,388 人と多くの方に足をお運びいただきました。

詳細につきましては、次号お伝えいたします。どうぞお楽しみに!!



# 福島県の合計特殊出生率の高さについて

福島大学4年 水間 あずさ

皆さんは東北地方のなかで福島県の合計特殊出生率が一番高いことをご存じですか？1.58（全国平均1.42[H26]）と47都道府県中9位となっており、全国的にみても高い値になっています。私は卒業論文の制作にあたりこのテーマに興味を持ったので、なぜ福島県の合計特殊出生率が高いのかを調べました。

全国的には、核家族化が進み世帯数の増加や一世帯当たりの人員が減少するなか、福島県では一世帯あたりの人員が多く、全国平均（2.27人[H27]）を上回る2.56

人と全国6位でした。また、福島県の女性就業率は44.7%（全国28位、共働き世帯割合は29.8%（全国平均24.4%[H22]）で全国14位となっています。つまり、子育てをしながら働く女性が多く、多世代同居による育児のサポートが合計特殊出生率の高い一因だということわかりました。

今後、核家族化がさらに進むことが考えられるため、育児のサポートは家族だけではなく、国や県全体で多様なサポートを行っていく必要があると思いました。

## 参考ページ

福島県ホームページ 一目でわかる福島県の指標 2016  
<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11045b/hitome2016.html>  
 福島県人口ビジョン  
<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11015b/sougoukeikaku-60001.html>

※福島大学4年生の水間あずささんに寄稿していただきました。

## 福祉機器を展示しています！

当センター1階の福祉機器展示室は、福祉用具・ユニバーサルデザイングッズを「見て、触れて、体験する」ことができます。今回は、展示室で活動をしていただいているボランティアと展示している福祉用具をご紹介します。



### ボランティアを紹介します

今年の6月から、展示室でボランティア活動をしてくださっている鴻野豊勝さんです。

作業療法士としての経験を活かし、利用者の皆様に福祉用具の効果的な使い方などを教えてくださいました。9月のフェスティバルでは、タオル体操の指導などもしていただきました！



### 軽量型電動車いす「JW アクティブ」

障がいをお持ちの方、足腰の弱った高齢者の方等の屋内外への移動を目的とし、行動範囲を広げることができます。

操作は、レバーを行きたい方向へ倒すだけです。レバーを元に戻せば止まります。スピードが出すぎないように設定もでき、急発進の心配もありません。

問合せ 福島県男女共生センター福祉機器展示室 電話：0243-23-8316

福島県からのお知らせ

地域で

男女共同参画推進アドバイザー派遣事業

職場で

## 男女共同参画を進めましょう！



県では、男女共同参画社会の推進のため、地域や事業所などで男女共同参画に関する講演会や研修会を開催する場合の講師、懇談会などのアドバイザーを無料で派遣する事業を行っています。

この機会を利用して、地域や職場、家庭での「男女共同参画」、「働き方の見直し」、「ワーク・ライフ・バランス」などを考えてみませんか。

詳しくは下記まで連絡を！

対象 県内に事業所がある企業、団体など  
 問合せ 福島県男女共生課  
 電話 024-521-7188 FAX024-521-7887



## 参加者募集

東日本大震災から6年が経過した今、震災に関連した活動等を行ってきた女性たちをお招きし「災害・復興と福島的女性たちの今」と題して、基調講演とパネルディスカッションを行います。詳しくは、チラシやセンターのホームページをご覧ください。

平成29年

日時 12月2日(土) 12時45分～16時15分

基調講演&パネルディスカッション

### 「災害・復興と福島的女性たちの今」

基調講演 千葉 悦子（福島県男女共生センター館長）

パネルディスカッション

パネリスト： 苅米 照子さん（NPO法人ウィメンズスペース・ふくしま 代表）  
 菅野 瑞穂さん（きぼうのたねカンパニー株式会社 代表取締役）  
 富田 愛さん（NPO法人ビーンズふくしま みんなの家 代表 事業長）  
 吉田 恵子さん（富岡町社会福祉協議会 事務局次長）

コーディネーター 藍原 寛子さん（ジャーナリスト、Japan Perspective News 株式会社 代表）

※上記の基調講演&パネルディスカッションは、特定非営利活動法人全国女性会館協議会の第61回全国大会 in 福島の一部として開催します。（どなたでも、参加いただけます。）

問合せ

福島県男女共生センター 企画調査課  
 電話：0243-23-8303 FAX:0243-23-8314

# WLB ワーク・ライフ・バランスに 取り組む企業

ワーク・ライフ・バランス（以下：WLB）について考えるきっかけになるよう、センターでは昨年実施した調査を基に、WLBに取り組んでいる企業をご紹介します。

今回は、将来を見据えて人材育成に取り組まれ、「すべては利用者さまの笑顔のために『モアスマイル』」をモットーにグループホームなど介護サービス事業を行っている郡山市の株式会社アルコップ社長の佐藤哲朗さんにお話を伺いました。

## WLBに取り組む理由

私たちは、やすらぎのある家庭的な暮らしの中で、利用者さまの“自分らしさ”を大切にされたベストケアを心がけております。そのため、職員は日々研鑽し、新しい技術と理論を取入れ前向きにチャレンジしています。会社としては、職員が豊かな発想と創造性を発揮し、伸び伸びとそして楽しくケアができる環境と、やりがいと生きがいを感じられる職場環境を整えるため、WLBに関する取組を行っています。仕事（ワーク）と生活（ライフ）は分けて考えることはできないため、休日も含めた生活の充実はよりよい仕事をするための活力になると考えています。

## WLBの具体的な取組

昨年、当社は創立15周年を迎えたことを機に、今後の会社経営や介護施設のあり方等について、長期経営計画を立て、今よりもっと良い会社にしていこうと全職員で共有し、WLBを取り入れた取組を行っています。

まず、最初に取り組んだのはコミュニケーションの充実を図るための組織体制の見直しでした。報告・連絡・相談がスムーズに行えるように、相談できる環境、現場の意見を吸い上げる仕組み、自主的に施設を運営する体制により、職場の風通しもよくなりました。

次に、人事諸制度を抜本的に見直し、キャリアステージの明確化、15等級の給料体系、個別研修制度、目標面接制度を整備しました。制度を周知し、職員一人一人がステップアップしていくための目標を明確にして、仕事に取り組むことが重要です。

その他、職員の負担軽減と事務の効率化のためIoTやロボットの導入、チームワークによる時間外労働ゼロ、有給休暇の取得促進、連続休暇制度の導入、保養所契約、永年勤続者表彰制度などを整備しました。

## WLBの取組への期待

よい仕事をしてもらうために「職員が満足できる」「納得できる」WLBの取組や諸制度、労働環境をつくることで、利用者さまのニーズにあった介護サービスを提供することができると期待しています。

介護業界は未だに「3K労働」というイメージが根強いと思いますが、「この会社で働いてよかった」「この仕事を選んでよかった」と一人でも多くの職員に言ってもらえる企業を目指し、介護のイメージを変えていきたいと思っています。



県内初の既存の建物をリノベーションし先端ITの導入も行き、平成29年3月にオープンした有料老人ホーム



## 株式会社アルコップ

住 所：郡山市桜木一丁目5-4

事業内容：介護サービス事業（グループホーム・小規模多機能型居宅介護・サービス付き高齢者向け住宅・有料老人ホーム）

従業員数：90名（社員80名・パート10名）うち女性が9割



※当センターに対する御意見・御質問等がありましたら、下記までお問い合わせください。

(公財)福島県青少年育成・男女共生推進機構 福島県男女共生センター（女と男の未来館）

〒964-0904 福島県二本松市郭内一丁目196-1

TEL (0243)23-8301 代 FAX (0243)23-8314

ホームページアドレス：<http://www.f-miraikan.or.jp>

メールアドレス：[mirai@f-miraikan.or.jp](mailto:mirai@f-miraikan.or.jp)

女と男の未来館

表紙のコンセプト\*第64号「恋人」：いつ崩れるかわからない不安の中で幸せを探す、そんな不安定な関係性を斜めの構図で表現しています。恋人は向き合っていますが、視線は別々の方向を向いていて、それぞれ違うことを考えているというイメージです。男・女である以前に皆それぞれひとりの人であるということ表現するため、様々な形の顔をしています。